



## 2月行事予定



## 令和5年度 2月の園だより



みみょう保育園

1	木	頭髪検査
2	金	豆まき・園開放
3	土	
4	日	
5	月	
6	火	
7	水	
8	木	
9	金	園開放
10	土	
11	日	
12	月	
13	火	
14	水	みみょう文庫
15	木	
16	金	園開放 避難訓練・誕生日会 進級説明会(きりん組)
17	土	
18	日	
19	月	
20	火	
21	水	
22	木	
23	金	
24	土	
25	日	
26	月	
27	火	
28	水	
29	木	

### 16日(金) 進級説明会

2歳児きりん組さんは、制服の採寸や幼児教育無償化に伴う給食費の徴収について、説明会をします。詳しい内容は、後日きっぷノートでお知らせします。

### 3月の行事予定

1日(金) 避難訓練・誕生日会  
ひなまつり会

23日(土) 第二卒園式(年長組)  
きりん組お別れ遠足(日程未定)  
きりん組卒園式・ふれあいの部屋(日程未定)  
職員と子どもたちでささやかな卒園式を行います。

### 〈やりたいことへ向かう力の原点は乳児期〉

1月末に行いました保護者アンケートでは、お忙しい中ご回答いただきありがとうございます。これから集計をしていきますが、記載の中に“子どもの毎日の出来事をいろんな先生方から教えていただき、先生方の見守りの中で大切な時期が成長できているんだと実感しています。”や“子どもの成長と一緒に楽しんでくれて嬉しいです。”など胸が熱くなるたくさんのメッセージをいただいたことに感謝申し上げます。常日頃から当法人教育研究機構会長が「生まれてからの乳幼児期の五年間が人生を決める大切な時期である」と言われています。その大切な時期のお子さんの育ちを保護者の方と共に、見守らせて頂けていることに感謝し、これからも全職員で一人ひとりの子どもたちがそれぞれの個性を發揮しながら、その子らしく成長できるよう、たくさんの愛情を注いでいきたいと思っています。また、気づきもお寄せいただいていますので、年度末に公表させていただきます。

さて、先日2歳児きりん組さんが、「行ってきま〜す」と園庭に駆け出す姿を職員と一緒に見つめながら、大きくなったなあととても感慨深い気持ちになりました。その駆け出す子どもたちの姿の中には、「今日は、〇〇して遊ぼう!」とやりたいことへ向かう気持ちが溢れていたり、そのやりたいことのために、ジャンパーを着たり、靴を履いたり、帽子をかぶったり、身支度を自分で取り組む姿が見られます。また、「〇〇ちゃんあそぼう」と大好きなお友だちの手をとり、一緒に駆け出していく姿も…。身支度をして、お外に行くまでの光景でしたが、子どもたちが、自分からやりたいことに向かっていくわくわくする姿がたくさん見られ、とても嬉しい気持ちになりました。子どもたちの「や

りたい」は、自分で見つけたことを試行錯誤しながらやりたいだけやる。そしてやりきった先が自信につながり、なんにでも最後まで粘りよく取り組む姿へと育っていくのです。その原点は、赤ちゃんの時から、求めている時に求めているだけ、抱っこしてもらい、大好きな大人に「そうなんだね」と思いしっかり聞いて、受け止めてもらう日々の積み重ねの中で培われていきます。その積み重ねが、自分は愛されているという大人への信頼感や安心感となり、きりん組さんの姿のようにやりたいことに自分から向かっていく力へと繋がっていくのです。これは、きっと日々ご家庭の中でも、「〇〇ちゃん大好きだよ」とお父さんお母さんに愛情をいっぱい注いでもらい、たくさんお話を聞いてもらっているからこそだと思います。だからこそ、私たちは子どもたちのやりたいを見逃さず実現できるよう、今年度も残り2か月となりましたが、毎日わくわくするような環境の中で過ごしていきたいと思えます。

園庭のプランターに子どもたちと一緒に植えたちゅうりっぷが芽を出し始めました。職員が「あかぐみさんになるとお花が咲くんだよ」とお話ししてくれているのを覚えているようで、芽がでてくるときりん組さんは、「あかぐみさんになったらよね」と嬉しそうに教えてくれています。先日、土から白い球根が少し顔を出しているのを見つけたKちゃん。「寒いね」と球根が隠れるように優しく土をかけてくれていました。子どもたちと日々過ごす中で、子どもたちの姿から私たち大人も学ぶことがいっぱいです。

日々の小さな変化ですが、ぜひ子どもたちと楽しんでみてください。

園長

### 子育て応援コラム

#### 「6つになった」

1つのときは なにもかも はじめてだった。  
2つのときは ぼくはまるっきりしんまいだった。  
3つのとき ぼくはやっとぼくになった。  
4つのとき ぼくはおおきくなりました。  
5つのとき なにからなにまでおもしろかった。  
今は6つで ぼくはありったけおりこうです。  
だから いつまでも 6つでいたいと  
ぼくはおもいます。

くまのプーさんの原作者 AAミルンの詩  
(訳 周郷 博)

0歳、初めての世界に飛び出して、1歳、見るものする事すべてが初めて。2歳の頃は何をするにもたどたどしく、3歳では自我が大きく膨らんで「ぼくになった」と自覚します。4歳は、目の前の世界がますます広がり年長児にあこがれを抱き、「あんなふうになりたい」「おおきくなりたい」と思い、園生活を自分のものに始めた5歳は「なにからなにまでおもしろかった」と。そして仕上げの6歳は、自分は“おりこう”と自信に満ちています。

このように子どもは成長していきます。未来を生きる子どもたちの成長を促し支える場が園、そして温かい家庭です。



119番通報  
できますか?



消さないで  
あなたの心の  
注意の火

広島市南消防署  
警防課 救助係